学校番号	302

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新編　数学Ａ Flex」　（実教出版）						
副教材等	ラウンドノート　数学Ａ 新訂版　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業の前に、今日は何を学習するのか教科書に目を通しておいてください。
・授業には、教科書、ノート、問題集を用意してください。
・授業で学習した所は、問題集の問題を解くことで復習してください。まず自分で解いてみて、わからないときは解説を見るのではなく、授業ノートを見て例題の真似をしてみてください。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・課題は、定期的に提出してもらいます。解答を写すのではなく、自分の力でしっかり取り組みましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
場合の数と確率、整数の性質及び図形の性質ついての基礎的な知識や技能を習得します。
【思考力、判断力、表現力等】
事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにします。
【学びに向かう力、人間性等】
事象を数学的に考察する能力を活用する態度を身に付けることを目標とします。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	場合の数と確率，図形の性質及び整数の性質における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身に付けている。	場合の数と確率，図形の性質及び整数の性質において，事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。	場合の数と確率，図形の性質及び整数の性質の論理に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1章　場合の数	1節　数え上げの原則 1．集合 2．集合の要素の個数 3．数え上げの原則	a:集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。 b: ベン図を利用して集合を図示することで、集合の要素の個数を考察することができる。 c:場合の数の考察に樹形図を活用しようとしている。 表を作って集合の要素の個数を求める方法に興味を示し、それを活用しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	授業観察 提出ノート 振り返りシート
		2節　順列･組合せ 1．順列 2．重複順列 3．円順列 4．組合せ 5．組合せの利用	a: 具体的な事象を基に順列や組合せの意味を理解し、その総数を求めることができる。 b: 順列や積の法則を基にして、円順列、重複順列を考察することができる。 順列の総数を基にして、組合せの総数を考察することができる。 c: 順列と組合せの違いに興味・関心をもち、同じものを含む順列の総数などを求めるときに活用しようとする。			

2学期	2章 確率	1. 事象と確率 2. 確率の基本的な性質 3. 余事象の確率 4. 独立な試行と確率 5. 反復試行の確率 6. 条件付き確率 7. 期待値	a: 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。 独立な試行や条件付き確率の意味を理解し、その確率を求めることができる。 b:確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすることができる。 c:条件付き確率や情報定理の考えに興味・関心をもち、積極的に活用しようとしている。 日常の事象における不確実な事柄について判断する際に、期待値を用いて比較し、判断したりしようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	授業観察 提出ノート 振り返りシート
	3章 図形の性質	1節 三角形の性質 1. 三角形と比 2. 三角形の外心 3. 三角形の内心 4. 三角形の重心	a: 三角形に関する基本的な性質を理解し、定理を適切に利用して線分の比や長さを求めることができる。 b: 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見いだし、その性質について論理的に考察・説明したりすることができる。 c: 三角形や円に関する性質に興味を示し、積極的に考察しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	授業観察 提出ノート 振り返りシート

		2節　円の性質 1.　円周角の定理 2.　円に内接する四角形 3.　円と直線 4.　円の接線と弦の作る角 5.　方べきの定理 6.　2つの円	a:　円に関する基本的な性質を理解し、定理を適切に利用して角度や線分の長さを求めることができる。 b:　図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見いだし、その性質について論理的に考察・説明したりすることができる。 c:　円に関する性質に興味を示し、積極的に考察しようとしている。			
		3節　空間図形 1．空間における直線・平面の位置関係	a:立方体において２直線のなす角をもとめることができる。 b:直線と平面の位置関係に関する基本的な性質を理解し基本的な知識を見出し、それが成り立つ理由を考察することができる。 c:　直線と平面の位置関係に関する基本的な性質を調べようとする。			

3学期	4章　数学と人間の活動	0.　数学のあゆみ 1.　倍数･約数 2.　余りによる自然数の分類 3.　ユークリッドの互除法 4.　2進法 5.　昔の測量 6.　最短の経路 7.　点の位置の表し方	a:最大公約数や最小公倍数の関係を適切に表現できている。 ユークリッドの互除法を用いて、２つの整数の最大公約数を求めることができる。 n 進法で表現することができる。 b:２つ以上の数に対して、公約数や公倍数の考えを用いて、事象を考察することができる。 約数や倍数の性質について基礎的な知識が身に付けている。 ユークリッドの互除法の仕組みを理解し、２元１次不定方程式の整数解を考察することができる。余りによる整数の分類の仕方について理解している。 記数法の意味を理解している。 c:素因数分解などを用いて、倍数などの考察に活用しようとしている。 互除法の原理に関心をもち、問題の考察に活用しようとしている。 数の仕組みに関心をもち、n 進法の考察に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	授業観察 提出ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度